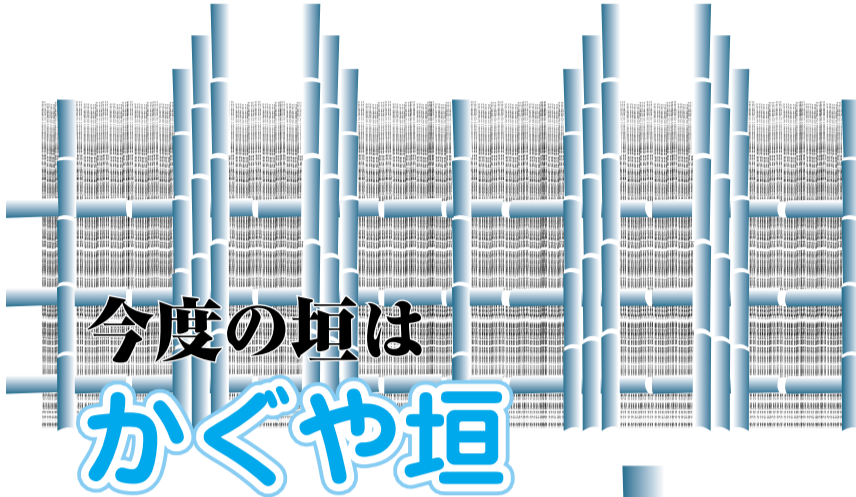


◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせてつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましよう

●向日市役所(〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ●電話 075(931)1111 ●http://www.city.muko.kyoto.jp/



今度の垣は かぐや垣

向日市特産の「孟宗竹」を使った竹垣の散策道「竹の径」(第3期)の整備がこのほど始まりました。今回は、これまでに完成した竹の径の中程から物集女町に抜ける約520m(下図参照)を整備します。

第3期の竹垣には、かぐや姫の十二単衣をイメージした「かぐや垣」が新たにデザインされました。

これで、「竹の径」には、新しく設置される「かぐや垣」をはじめ、割った竹を約1.5m

の高さに組み上げた「物集女垣」、寺戸大塚古墳周辺にある竹を丸く曲げ四つ目に組み合わせた「古墳垣」、シンプルに四つ目に編み上げた「寺戸垣」、竹の枝を束ねて並べていく伝統的な「竹穂垣」、の五種類の竹垣が見られ、散策する人たちの目を楽しませることになります。

独創的な竹垣が施された散策道「竹の径」は国土交通省の「手づくり郷土賞」や新聞社の「遊歩百選」に選ばれるなど、全国から注目を集める向日市の観光スポットとして成長しています。



「竹の径」第三期工事始まる



平成14年火災等発生件数まとめ

救急件数8年連続増加で過去最高に

「放火されない環境づくり」を

平成14年中の火災・救急・救助の発生件数がまとめられました。平成13年4月の乙訓消防組合発足で、消防統計の取扱い基準が見直されました。消防事故(小火)の取扱いがなくなり、火災件数に含まれることになっています。

	平成12年	平成13年	平成14年
火災	2	22	26
消防事故	38		
救急	1,420	1,633	1,715
救助	13	21	23

【火災】 出火率は4.9(全国平均は5.0)
地域の連携で放火されない環境づくりを

向日市内で発生した火災件数は26件で、出火件数を火災種別で見ると、建物火災が全体の50.0%で最も高い比率を占め、次いでその他火災、車両火災、林野火災となっています。火災件数からの出火率(人口1万人当たりの火災件数)は4.9で全国平均の5.0を僅か下まわっています。

年々増加傾向にある「放火(疑いを含む)」による火災は、火災原因全体の31%を占めている。最近の放火は農村型から都市型に様変わりしてきており、今後さらに、消防団、自主防火組織及び女性防火推進員と連携を密にし、火災の更なる低減を図り、「放火されない環境づくり」を最重点に進めていきます。

【救急】 平成7年から毎年最高件数を更新
積極的に応急手当普及を推進

昨年一年間の救急事故発生件数は、1,715件で一昨年に比べ82件の増加となり、平成7年から毎年最高件数を更新しています。

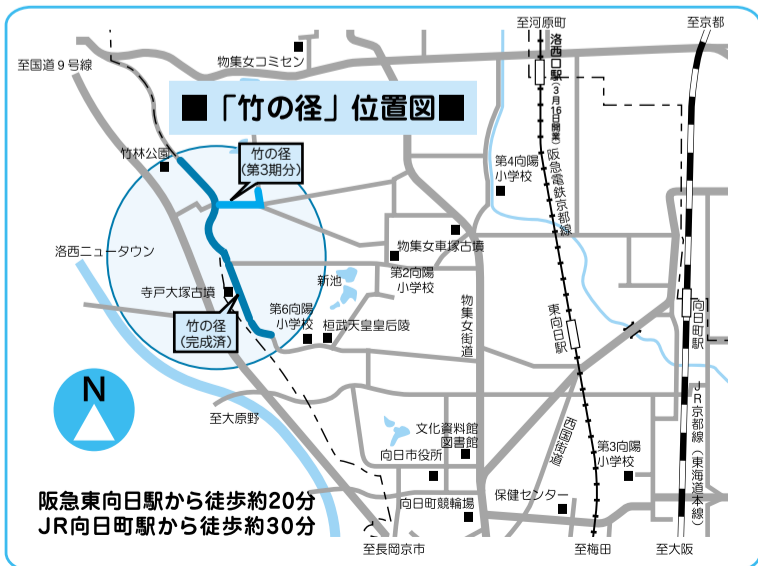
その内訳は、急病945件、交通352件、一般負傷232件で全出動件数の89%を占め、一日平均の救急事故発生件数は4.7件で、搬送人員は市民の31人に一人が救急隊によって搬送されたこととなります。

今後、人口の高齢化に伴い救急件数が増加するものと予想され、バイスタンダー(現場に居合わせた人)による迅速な通報・応急処置が講じられるよう、市民に対して救急講習会を開催し、心肺蘇生法等の応急手当普及を積極的に進めていきたいと考えています。

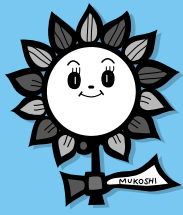
【救助】 交通事故現場への出動が増加
救助資器材の充実

救助出動件数は23件で、一昨年に比べ2件の増加となりました。その内訳は、交通7件、火災6件、その他6件、建物4件で、延べ18人を救助しました。昨年の増加の特徴は、交通事故現場への救助出動が増加したものです。

今後、さらに多発すると予想される多種多様な事故・災害に的確に対応し、さらなる救助資器材の充実を図るものとしています。



INFORMATION



市の催し・サービス情報

INFORMATION

インフォメーション

講座・スポーツの催し、サービスの案内など、市からのお知らせを中心に掲載しています。

〒617-8665 向日市役所
☎075-931-1111 (代表)
FAX 075-922-6587
info@city.muko.kyoto.jp

EVENT INFORMATION

催し物情報

歴史・文化・芸能

文化資料館ラウンジ展示「雛人形展」



江戸時代から明治・大正時代にかけての雛人形を展示します。宮中の伝統をふまえて作られた有職雛(ゆうそくびな)を復元したお人形や、江戸時代に流行した古今雛などを紹介します。

- 日時/2月22日(土)~3月30日(日) 午前10:00~午後6:00(入館は午後5:30まで)
●場所/文化資料館
☎文化資料館☎931-1182

公民館クラブ学習発表会

公民館で自主的に活動しているクラブ・サークルが、今年も盛大に学習の成果を発表します。

展示発表の部

- 上植野公民館 ☎921-0012 2月15日(土)・16日(日)
鶏冠井公民館 ☎921-0063 2月15日(土)・16日(日)
物集女公民館 ☎921-0048 2月22日(土)・23日(日)
中央公民館 ☎932-3166 3月1日(土)・2日(日)
※各会場とも土曜日は、午前10:00~午後4:00。日曜日は、午前10:00~午後3:00
※お問い合わせは、各地区公民館へ。

舞台発表の部

- 日時/3月9日(日) 午前10:30~午後4:00
●場所/市民会館ホール
●プログラム
【午前の部】合唱・合奏
【午後の部】謡曲、詩吟、民謡、体操、舞踊
お問い合わせ 中央公民館☎932-3166

文化資料館日曜談話会「昭和10年の向日町~町並み復元模型の歴史的背景~」

昭和10年の町並みを復元する根拠となったさまざまな史料をご紹介します、当時の向日町のにぎわいの背景を考えます。お気軽にご参加ください。

- 日時/2月16日(日) 午後2:00~4:00
●場所/文化資料館
●報告者/玉城玲子さん(文化資料館資料係主任)
☎文化資料館☎931-1182

乙訓文化芸術祭「和太鼓フェア」

主に乙訓で活動している団体に、日頃の成果を思う存分、発揮していただきます。

- 日時/2月23日(日) 午後1:00~
●場所/大山崎町体育館
●出演団体/大山崎太鼓同好会、A²、和太鼓サークル「つくどん」(大山崎町)、和太鼓「輝楽々」、ほしの鼓(向日市)、でんでん、乙訓学園「太鼓クラブ」、藹あい(長岡京市)
●主催/乙訓文化芸術祭実行委員会
☎大山崎町総務課企画広報係☎956-2101

講座・教室

まなぼうや講座「らく・楽カウンセリング教室」~カウンセリングってなあに?~

- 日時/3月8日(土)・22日(土)・4月12日(土)・26日(土) (全4回) 午後1:30~3:30
●場所/中央公民館
●内容/体験学習を交えて、楽しみながら気楽にカウンセリングの基礎を学ぶ
●講師/小林武さん(向日市生涯学習推進サークル「まなぼうや」会員)
●対象/成人25人(原則全回出席できる方)
●参加費/400円(全4回分・1回目に全納)
●持ち物/筆記用具、はさみ、色鉛筆(数色)など
●申込み/2月17日(月) 午前9:00から生涯学習推進サークル「まなぼうや」事務局・教育委員会社会教育課内(内線325)へ。定員になり次第締切ります。

琴の橋講座「創る楽しみ食べる楽しみ 早春の料理講座」

- 日時/3月4日(火) 午前10:00~午後1:30
●場所/老人福祉センター琴の橋
●対象/60歳以上の向日市民25人
●メニュー/れんこんバーグ、白菜とりんごのサラダほか
●参加費/300円
●持ち物/エプロン、三角巾、上履き
●指導/向日市食生活改善推進員
●申込み/2月17日(月)~28日(金)(休日を除く)に、参加費を添えて、老人福祉センター琴の橋

☎924-0800へ。定員になり次第締切ります。

元気シリーズ「笑いは元気の素」

- 日時/3月5日(水) 午後1:30~3:00
●場所/老人福祉センター琴の橋
●対象/向日市民(60歳以上に限らず)
●内容/講演「笑いは元気の素」井上宏さん(関西大学教授、日本笑い学会会長)
●持ち物/上履き
●申込み/2月17日(月)~3月4日(火)(休日を除く)に、老人福祉センター琴の橋☎924-0800へ。電話での申込みも可。

市民いきいきボランティア講座

- 日時/3月10日(月)・17日(月)・24日(月) (全3回) 午後1:30~4:00(3月24日のみ午後4:30まで)
●場所/福社会館
●対象/向日市民
●内容/車椅子ガイドとアイマスク・手引き体験、市内のボランティア活動者からの体験報告など、参加者に講座を通じて、心と体を動かしていただき、ボランティア活動の第一歩をご案内します。
☎向日市社会福祉協議会地域福祉係☎932-1961・FAX 933-4425

痴呆性高齢者の介護講座

- 日時/3月8日(土) 午後1:30~4:00
●場所/福社会館
●内容/講演「痴呆性高齢者の介護について」上田章さん(仏教大学助教授)、グループ相談会など
●対象/向日市民50人
●申込み/2月17日(月)から28日(金)までに向日市社会福祉協議会地域福祉係☎932-1961へ。定員になり次第締切ります。

スポーツ

ショートテニス交流大会

- 日時/3月16日(日) 【受付】午前9:00~9:25・【開会式】9:30・【競技開始】10:00
●場所/市民体育館
●対象/15歳以上(中学生を除く)
●募集チーム/フリーの部、女子の部、初級の部(クラブ員を除く。)とし、合計40チーム
●申込み/3月5日(水)までに所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、向日市教育委員会社会教育課スポーツ振興係(内線325)へ。
※申込用紙は、社会教育課、各公民館、市民体育館、市民温水プールに置いているほか、向日市ホームページ(申請書提供サービスhttp://www.city.muko.kyoto.jp/ad/shinsei/ichiran.html)から取り出すことができます。

阪急洛西口駅開業に伴い 自転車等整理区域を指定します

平成15年3月16日(日)に阪急洛西口駅が開業されることに伴い、自転車等整理区域を指定します。(右の地図)

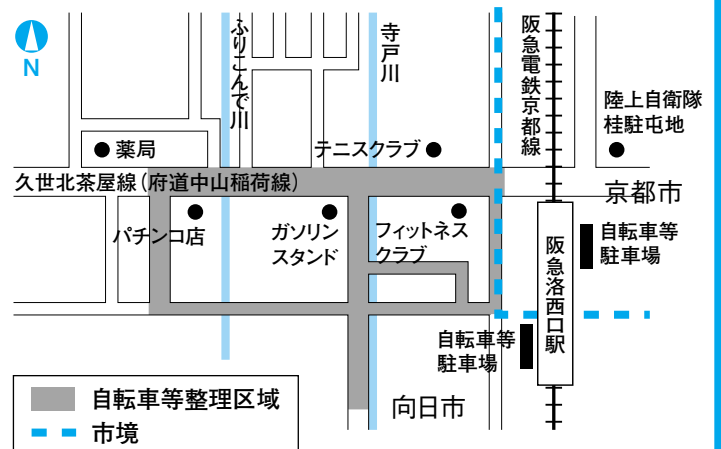
整理区域内の放置自転車などは、原則として放置時間の長短に関係なく、移動撤去します。

お問い合わせ 市民安全課(内線235)

■自転車等の放置とは■ 放置自転車であるかどうかは、置かれている時間の長さや、自転車の使用目的ではなく、置かれている自転車の状態によって決まります。

■お願い■ 自転車等は、所定の自転車駐輪場に駐輪してください。

なお、自転車駐車場の収容力には限度があります。近距離の方は、自転車等の利用を自粛してください。



ミニスポーツデー

- 日時/2月17日(月)
- 午前の部…10:00～正午 ○午後①の部…1:00～3:00 ○午後②の部…3:30～5:30
- 場所/市民体育館
- 参加費/各時間1人300円
- 種目/卓球(5台)、ショートテニス(2面)
- 申込み/当日受付
- 持ち物/体育館シューズ、ラケット(貸出有)、ピン球(貸出有)、ボール(貸出有)
- 市民体育館 ☎932-5011

自然

天体観望会

開催日	タイトル
3月8日(土)	木星・土星と冬・春の散開星団
4月12日(土)	月と木星・土星
5月10日(土)	月・木星と春の大曲線
6月14日(土)	木星と春の星座
7月12日(土)	月と夏の星座
8月9日(土)	月と夏の三角
9月13日(土)	惑星と夏の星雲星団
10月11日(土)	月と惑星その1
11月8日(土)	月と惑星その2
12月13日(土)	火星と秋の星雲星団
1月10日(土)	火星・土星と冬の星座
2月14日(土)	惑星と冬の星座
3月13日(土)	惑星と冬・春の散開星団

- ※時間はいずれも午後7:00～9:00
- ※雨天・曇天の場合はプラネタリウム室での星空解説のみ。
- 申込み/各開催日の10日前まで
- 「観望会申込書」(天文館にあります)を利用/必要事項を記入の上、官製ハガキまたは連絡用ハガキ代50円を添えて天文館 ☎935-3800へ。
- 「往復ハガキ」を利用/

＝天体観望会往復はがきの記入例＝

↓往信用(表) ↓返信用(裏)

617-0005 にも書かないでください

往信 向日市 向日市 観望希望日

向日市 向日市 代表者住所氏名

天体観望会係 代表者電話番号

全参加者氏名・年齢

ご住所を お書きください

↑返信用(表) ↑往信用(裏)

返信用はがきの表に代表者の住所・氏名をお書きください

図書

おはなしひろば

図書館ボランティア「きつづらいぶらり」による、楽しいおはなしや、てあそびの時間です。小さいお

- 子どもと一緒に参加できます。
- 日時/2月22日(土)午前11:00
- 場所/図書館
- 図書館 ☎931-1181

福祉

ひとり親家庭を励ます知事と新入学児童のつどい

- 日時/3月21日(金)午前10:30～午後2:30
- 場所/京都テルサ
- 対象/小学校に入学されるお子さんのいるひとり親家庭
- 申込み/2月21日(金)(必着)までにハガキで向陽保健所支援係(〒617-0006向日市上植野町馬立8・☎933-1154)へ。

SERVICE INFORMATION

サービス情報

緑化

「すだち」の苗木を配付します

市では、市民のみなさんとともに、緑豊かで潤いがあり、快適に暮らせる「花と緑の都づくり」をめざしています。

今回、市民のみなさんに、緑を育て、より緑に親しんでいただくため、「すだち」の苗木200本を希望者に配付します。

希望者は、2月25日(必着)までに、往復はがき(1世帯につき1枚)に住所、氏名、年齢、電話番号、緑化事業に対する意見を記入のうえ、都市整備課(内線267)へ申し込んでください。

配付決定者(申込み多数の場合は抽選)には、返信はがきで連絡します。配付は3月中旬の予定です。

税

軽自動車の登録事項の変更手続き

■軽自動車税は4月1日現在の登録者に課税されます■

軽自動車、バイクをお持ちの人で、廃車・転出・譲渡・名義変更・盗難・標識の紛失などが生じた場合は、手続きが必要です。年度末は、窓口がたいへん混雑しますので、早めに申告してください。

- 申告先/125cc以下のバイクと小型特殊自動

車は市役所税務課(内線222、223)へ。印鑑とナンバープレート(廃車・転出の場合)を持参してください。軽4輪は、軽自動車検査協会京都事務所 ☎671-0928へ。125cc超のバイクは京都陸運支局 ☎681-9761へ。

固定資産税課税台帳縦覧期間の変更

固定資産税の課税基礎となる課税台帳の縦覧は例年3月に行っていますが、地方税法の改正により、平成15年度から縦覧は4月に変更となります。縦覧期間などは後日お知らせします。

●税務課固定資産税係(内線225)

年度末は陸運支局の窓口が混雑します 自動車の登録手続きはお早めに

毎年、年度末は企業の決算月と自動車税の課税期間の終期が重なる関係で、自動車登録の申請が集中し、運輸支局の窓口が非常に混雑します。

特に3月期の後半は、登録の窓口が非常に混雑するため、申請者の皆さんに長時間お待たせするなど、ご迷惑をおかけすることとなります。

お手持ちの車で、まだ抹消登録や移転登録手続きなどを済まされていない方は早期に申請を済ませてください。

●近畿運輸局京都運輸支局 ☎681-9761、登録テレホンサービス ☎681-3101

消費生活

乙訓統一物価調査結果(向日市分)

品 目	区 分	向日市内			二市一町平均
		高 値	安 値	平均 値	
マーガリン	雪印ネオソフト・ラーマソフト450g 1箱	281	208	217	242
牛 肉	すきやき用・中 100g	586	231	415	396
鶏 卵	白色系Mサイズ 10個	260	124	198	178
玉 ね ぎ	100g	24	11	19	20
ばれいしょ	男爵 100g	34	11	23	24
キャベツ	100g	24	10	18	20
み そ	タケヤみそ 1kg	418	344	398	420
食 用 油	日清サラダ油 700g	449	386	405	413
インスタントコーヒー	ゴールドブレンド 150g	1331	1029	1191	1174
季節の果物	みかん 1kg	515	158	382	375

平成15年1月調査分

向日市長選挙立候補予定者説明会

選挙管理委員会では、平成15年4月27日執行(予定)の向日市長選挙の立候補予定者説明会を次のとおり開催しますので、立候補予定者等関係者は出席してください。

- 日時/3月15日(土)午前10:00～
- 場所/市民会館第1会議室
- お問い合わせ 向日市選挙管理委員会(内線294)



COMMUNICATION CORNER

人と人をつなく 市民の情報掲示板

コミュニケーションコーナー

クラブ・サークルなどの会員募集や催しに関する情報をお寄せください。必要事項を書いて掲載希望日の1か月前までに郵送、FAX、電子メールなどで秘書広報課広報係(内線240)へ送ってください。同一内容の掲載は、年1回までとします。なお、紙面の都合上掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

会員募集

- 向日市介護者の会交流会 みんな支え合いましょ。どなたでも参加自由です。2月21日(金)午前10:00～正午、市民会館。●足田さん ☎922-1047、乾さん ☎921-2650

催しなど

- 若竹俳句クラブ 第1木曜日午後1:00～4:30、寺戸公民館。NHK俳句講師。一度見学にお越しください。●山本さん ☎922-8617

臨時休館のお知らせ

■市民温水プール■

(仮称)健康増進施設の建設工事のため、3月1日(土)・2日(日)の2日間、市民温水プールを臨時休館します。

■天文館■

プラネタリウム機器修理のため、2月26日(水)・27日(木)・28日(金)の3日間、臨時休館します。

SERIES

みんなが優しくすまむち

うるおい 環境都市むこう

エネルギーを効率的に利用するために 使っているエネルギーをよく知ろう

環境 ENVIRONMENT

ふだんなにげなく使っている、電力やガスなどのエネルギー。必要ときに、必要な分だけ使うことは、よくいわれることですが、使用していないときや、使用中に以下のことを気をつけることで、もっとエネルギーを効率よく使用することができます。

■エアコン■

- 使わないときはコンセントを抜く
- フィルターを月1、2回掃除する
- 使うときはカーテンやブラインドを閉める
- 暖房時は電気カーペットを一緒に使う
- エアコン室外機の排水を溜めて、植物の水やりなどに使う

■蛍光灯■

- 白熱電球から電球型蛍光灯に交換する

■冷蔵庫■

- 食品を詰めすぎない

- 開閉の回数を減らす

■水■

- 食器を洗うとき、歯磨きや洗顔のときなどは、水を出しっぱなしにしない
- お風呂の残り湯で洗濯する

■コンロ■

- 鍋やヤカンをコンロにかけるとき、底がぬれていたらふき取る
- コンロは中火で使う

■その他■

- 見ていないテレビや家電製品は、こまめに電源を切る
- 省エネ型家電製品を購入、使用する
- 停車・駐車中は、車のエンジンを切る(アイドリングストップ)
- 太陽光発電などのクリーンエネルギーを積極的に利用する
- 雨水を溜めてトイレや洗車などに利用する

お問い合わせ 環境政策課環境対策係(内線232)



健康 HEALTH

平成13年～18年向日市保健計画—精神保健編 ~こころの健康づくりは、ストレスをためない生活と正しい理解から~

社会情勢が急速にめまぐるしく変化する現代社会において、多くの人々がストレスや不安を感じ、社会生活に対して不適応状態に陥るなど、こころの健康を損ねている人が増加しています。

「こころの病」はさまざまですが、現在のところ①脳の病気や全身の病気などが原因でおこるもの②確かな原因がわからないもの③心理的原因でおこるものの3つに分類されます。「こころの病」は過度のストレスを受けることなどが引き金となり、誰にでも起こりうる可能性があります。そのため、脳のはたらきについての学習を深めることが大切になります。

「こころの病」を持つ人の多くは過度の不安や緊張、不眠などの様々な症状を抱えており、そのため仕事ができない、金銭管理

ができないなど生活基盤が安定せず、さらに買い物・食事や通院・服薬などの治療を含めた日常生活を送ることがうまくできずに苦勞している現状があります。

本人が地域でどのように生活したいと望んでいるのかに耳を傾けると、人の話を聞いてもらいたい、話し相手がほしい、病気のことを理解してほしいなどの訴えとともに、仕事をしたい、家族と一緒に住みたい、心臓病や糖尿病を治したいなどの希望を持っています。

「こころの病」を持つ人が安心して地域で生活することを支援するためには、周囲の人が本人や家族の悩みや希望に耳を傾けるとともに、理解を深め、正しい知識の啓発をすすめることが大切です。また、相談体制を整え、保健・福祉・医療の専門家がそれぞれの専門性や役割を発揮しながら、連携を取って支援していくことが必要です。



お問い合わせ 健康管理課(内線333、338、339、357)



BOOKS INFORMATION 新着図書のご案内

PICK UP

【児童図書】



「ぼくがあの子をきらいなわけ」

磯みゆき・作・絵 ポプラ社

公園でいつも会う女の子。ぼくはあの子がきらいだ。でもなんだか気になる。今度いっしょに遊ぼうね、というおとうさん... さて、どうなるでしょう?

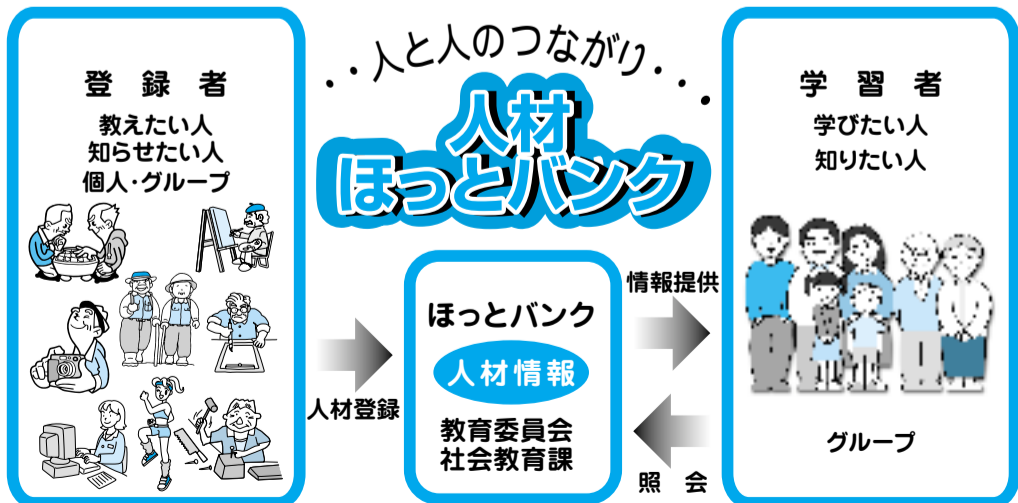
一般図書

- 「すぐやる人」になれば仕事はぜんぶうまくいく 金見昭・著 あさ出版
- 痛快!ローマ学 塩野七生・著 集英社
- 日本の公益法人 入山映・著 ぎょうせい
- 少年が救った提督の名誉 ピート・ネルソン・著 文芸春秋
- ボケ、寝たきりにならない30の方法 高田明和・著 中経出版
- 好き嫌いをなくす幼児食 加藤初枝ほか・著 女子栄養大学出版部
- 獣医さんがおしえる猫の医学百科 渡辺英一郎・監修 双葉社
- トリック・アイズ 北岡明佳・著 カンゼン
- この常識ことば、わかる? 日向茂男・著 中経出版
- ハミザベス 栗田有起・著 集英社
- 縁起のいい客 吉村昭・著 文芸春秋
- 青い家 テリ・ホルブルック・著 早川書房

児童図書

- キング牧師のかつよいことば ドリン・ラパポート・文 国土社
- 数学とっておきの12話 片山孝次・著 岩波書店
- あやとりずかん 大泉書店編集部・編 大泉書店
- けやきの森の物語 丘修三・作 小峰書店
- 銀太捕者帳本所七不思議のひみつ 那須正幹・作 岩崎書店
- ドレミファ・ドーナツふきならせ 森山京・作 フレーベル館
- アネイリンの歌 ローズマリ・サトクリフ・作 小峰書店
- ウサギの丘 ロバート・ローソン・作 フェリシモ
- ガブガブの本 ヒュー・ロフティング・作 国書刊行会
- ともたち 谷川俊太郎・文 和田誠・絵 玉川大学出版部
- なめれおん あきやまだし・著 佼成出版社
- ねえだっこ いちかわけいこ・作 つるたよこ・絵 佼成出版社

お問い合わせ 図書館 ☎931-1181



あなたの活動の場を広げてみませんか...生涯学習ボランティア

「人材ほっとバンク」は、豊富な知識、技能を持っている方を人材として登録し、いろいろな分野で学びたいと希望されている市民の方に紹介する制度です。

平成15年4月からの運用を目ざし、「人材ほっとバンク」に登録していただく様々な分野で活動されている人材を募集しています。ひとりでも多くの方が登録していただきますようお待ちしております。

■登録方法■ 市役所や主な公共施設に置いてある「登録申請書」に必要事項を記入のうえ、教育委員会に提出してください。

■登録の仕組み■ 市民の学習、文化、スポーツ等の生涯学習活動を指導・協力していただける方を『人材ほっとバンク』に登録し、その人材情報を生かして市民の学習活動を支援するものです。

■登録者■ 18歳以上の在住・在勤の方で、生涯学習推進に熱意のある方であればどなたでも登録できます。

※登録していただける方をご紹介ください。

☎教育委員会社会教育課(内線322)